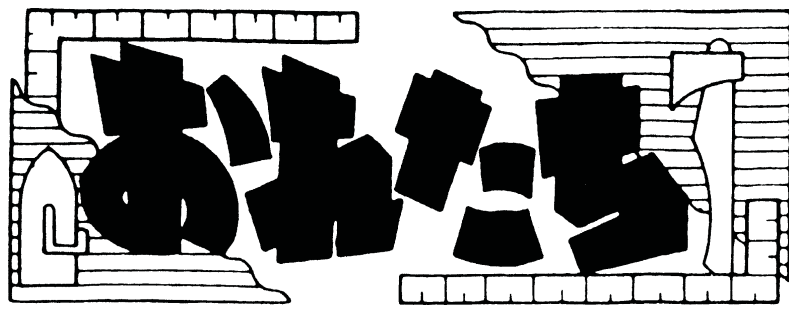


来月の無料法律相談は

7月15日(金) 14時~16時

希望者は前日までに予約を

6月初組合員数=2108人(+29人)



2011年

6月10日

第512号

http://www.doken-arakawa.org/ 東京土建荒川支部

検索

春の拡大

最終盤 支部目標達成 85人加入

厳しさを乗り越え各分会・役員が果敢に行動

春の拡大月間が5月31日に終わりました。支部目標84人、本部目標78人で取り組み、85人を拡大。8年連続達成です。これまでになく厳しい拡大でしたが、労災特別加入や土建国保のメリットを生かし、最終盤達成することができました。

【関連記事2面】

日常的に対象者に接点

3月から取り組みを検討

浩記者 南千住
日暮里2分会では、3月の分会役員会で春の拡大への取り組みを検討しました。対象者と対象事業所の掘り起しの情報収集のための事業所訪問、そして組合員訪問を決めました。



早々と対象者の掘りおこしに動いた日暮里2分会のみなさん

4月26日、以前から組合加入を呼びかけてきた事業所から連絡があり、29日再度訪問。5月12日昼間訪問で加入を確認、17日の群会議で加入が決定しました。分会役員が、日常的に対象事業所などに好意的に接点をもつ努力をしています。冷暖

平日昼間行動 ローラー作戦も

荒川分会

【並木義男記者 荒川】5月30日、目標達成しました。荒川分会は、センターに10人以上集まり、チラシまきや組合員訪問を行いました。平



分会名	2011年1/1付現勢	春の拡大月間		2011年6/1付現勢
		月間目標	成果	
01 西尾久	295	12	5	272
02 東尾久1	140	6	3	131
03 東尾久2	192	8	4	177
04 荒川	311	12	12	287
05 町屋北	205	8	6	193
06 町屋南	214	9	10	185
07 日暮里1	200	8	9	186
08 日暮里2	220	9	9	201
09 南千住	201	8	5	189
10 事業所	112	4	6	110
20 直属	137		16	177
合計	2,227	84	85	2,108
主婦の会	423	15	15	397
青年部	81	10	10	77
荒友会	142	11	11	148

春の拡大月間 最終確定表 6月1日現在

最後の日曜日も動き 花咲く

日暮里1分会

【角田輝夫記者 日暮里】最後まで対象者を追った日暮里1分会は、常時センターに7、8人が集ま



最終盤に意地をみせ達成した日暮里1分会のみなさん

り、多い時には10人くらい集まりました。チラシは、丁目ごとに分けて順番にまきました。「あそこは建築かな」と思えば再度あたりました。行動後には「あの話ってどうだったの」と確認していました。組合に不払い相談をした対象者が消える中、最後の日曜日も動き、31日に達成しました。加入は見送った対象もいましたが、椿分会長や川又副委員長ほか役員がけん引し、花を咲かせることができました。

健診・労災などで成果

町屋南分会

【小林寿郎記者 町屋南】健康診断を従業員に受けさせ



井澤分会長

たいという要求で、組合内事業所から2人が加入しました。センターに集まった活動家がチラシまき、組合員訪問をこまめに行いました。組合内事業所(防水)の関

係者も労災加入で拡大しました。「何としても達成したい」という井澤分会長を始めとする役員が踏んばりがかなく、最終盤にやりとげました。目標超過です。



【機部正三通通信員＝荒川】「東北関東大震災の被災者支援」

東日本震災被災者支援を

第82回メーデー 代々木に2万1千人

【機部正三通通信員＝荒川】「東北関東大震災の被災者支援」



5月1日、代々木公園には2万1千人が集まり、第

82回中央メーデー（全労連系）が行われました。荒川支部からは65人が参加しました。

荒川支部のデコレーションは、東日本大震災（3月11日）からの被災地の復興を願い、TPP問題もテーマとしたキリンの高所作業車でしたが、コンクールでは入賞できませんでした。

集会では全労連の大黒作治議長が「政府に被災者が人間らしく暮らせる条件の整備を求めよう」と呼びかけ、被災地から参加した宮城県労連も「解雇が広がり、雇用問題の解決が緊急課題だ」と述べました。

集会後、東京土建は明治公園コースをデモ行進し、思い思いのデコレーションを先頭に市民に被災地支援などをうたったえました。

荒川支部のデコレーションメーデー参加者

党派超え脱原発で銀座をパレード

三宅晶子千葉大教授らがスピーチ

日比谷公会堂 5・3憲法集会に2800人



党派を超えて集まった5・3憲法集会＝日比谷公会堂で

【小川隆志通信員＝南千住】5月3日、日比谷公会堂で「5・3憲法集会」が行われました。東京土建荒川支部から10人が参加しました。

日本も今こそ、自然エネルギーの活用を真剣に考えるべきです。

次に、志位和夫日本共産党委員長は、「震災を口実に危機管理の仕組みを変え、緊急事態条項を創設し、憲法を改正する」と述べました。

閉会后、2800人の参加者は、小雨の中大声でシユプレヒコールを唱え、銀座通りを東京駅までデモ行進しました。

「原発がこの理念を無残にも打ち砕いている。アイスランドでは、火力・原子力発電所がなく、電力の大半を水力、地熱発電でまかなっています。その技術は日本が高く、日本企業が世界の地熱発電設備容量の70%のプラントを供給しています。」

千葉大学教授の三宅晶子さん、ジャーナリストの伊藤千尋さんから、次の趣旨のスピーチがありました。憲法13条・25条は、国民が幸福を追求し、安心して生活できるような保障しているが、「原発」がこの理念を無残にも打ち砕いている。

福島原発事故 神戸大教授が暴露

警告あざ笑った「御用学者」

神戸大の石橋克彦名誉教授（地震学）が、福島原発事故を招いた元凶に「御用学者」の存在があったことを暴露しました。彼らの責任が重大であると証明しています。



今後も「原発震災」は起こり得ると警告する石橋教授（4月25日、国会内の講演で）

「指摘を抹殺された」

石橋教授は、1997年10月に岩波書店の科学雑誌に論文を寄せて、地震と原発事故が相まって甚大な被害をもたらす「原発震災」の危険性を主張しました。

「国内の原発は格納容器で核燃料が暴走して水素爆発を起こし、チェルノブイリ事故のような大量放射能漏れが生じる」と警告したのです。さらに東海地震発生を懸念し、想定震源域にある静岡県浜岡原発の問題点を追及しました。

「明らかに専門外について論拠なく言及している」

「地震による原子炉損傷で核燃料が暴走して水素爆発を起こし、チェルノブイリ事故のような大量放射能漏れが生じる」と警告したのです。さらに東海地震発生を懸念し、想定震源域にある静岡県浜岡原発の問題点を追及しました。

「国内の原発は格納容器などの防護対策がなされているので、チェルノブイリのような多量の放射能漏れはまったく起こり得ない」

「論文は学会で取り上げられていない。雑誌は自由に意見を述べられるが、学会誌は違う」

「明らかに専門外について論拠なく言及している」

今も責任ポストに居座る

福島の事故から浜岡運転中止に至る経緯を見れば、斑目氏の指摘は単なる中傷にさえ聞こえます。

「国内の原発は格納容器で「日本中で震度7級が襲うリスクは高まった」と改めて訴えています。

しかし、斑目氏は現在も政府の原発推進政策を支える原子力安全委員会のトップに居座り続けています。

小佐古氏は大震災直後に内閣参与となり、4月30日に福島の児童生徒の被ばく対策を批判して辞任しましたが、この間、飲料水に含まれる放射性物質の基準値の引き上げを主張しました。

こうした「御用学者」が原子力政策や事故対応の決定に大きな影響を与えている限り、「原発震災」が再発する危険性はなくなるなどいでしょう。

タイルなど 事業所から6人

事業所分會

【大内良雄＝書記局】4月の拡大出陣式には早々と達成を報告した事業所分會。組合内事業所（タイル、建築大工）から6人の従業員が加入しました。

主婦の会も達成

主婦の会は連日、役員がセンターに結集。子育て世代も訪問し、建設産業の厳しい状況を話しました。結果、目標の15人を拡大しました。

子育て世代が家族そろって あふれるほど大漁のあさり

牛込海岸・三日月ホテル竜宮城スパへ

後継者レク



「ほら、こんなにとれたよ」＝木更津牛込海岸で

【今野賢一通信員＝東尾久】5月15日、晴天の中、荒川支部後継者対策部は春のリクリエーションを行い、子育て世代の組合員・家族68人が参加しました。木更津で潮干狩り(牛込海岸)、三日月ホテル竜宮城

スパで温泉などを満喫しました。朝6時過ぎに支部に集合。潮干狩りに向かうバスの中では、担当書記からも春の拡大月間への協力のうたったえがあり、組合のDVDも上映されました。

そうこうして、いよいよ牛込海岸に到着。みなさん、網と熊手を持って潮干狩りへ。あさがりがクラーパーボックスからあふれるほどの大漁でした。ホテルの昼食はバイキングでメニューもいっぱい。カレー、あさりラーメン

ン、デザートなど、みんな満腹になりました。そして、いろいろな風呂とプールでゆったり。みなさん、どこことなくお肌もピッチピチになりました。ホテルを出て、海ほたる(東京湾アクアライン)で買物をして無事帰路に着きました。

ちなみに、あさはりには小粒でしたが身がギッシリ詰まっています。美味しかったです。たくさん参加者から、「来年も家族そろって楽しめる企画を立ててほしい」という要望がありました。

東京土建の宣伝に今年も 汐入で住宅デー

南千住分会

【竹達浩記者＝南千住】

5月15日、南千住分会は「汐入地域住宅デー」を南千住8丁目の居酒屋「どうちゃん」前で行いました。汐入地域は南千住3・4・8丁目になります。春の拡大月間中に住宅デ

ーを行ったのは、汐入地域での拡大運動の一環であり、東京土建の宣伝の場にもなるためです。組合員15人、家族4人の総勢19人が参加しました。



障子張り替えする南千住分会の組合員。武藤幸吉さん

成果は包丁74丁、ハサミ3丁、障子張替え2本、耐震金物2件、本立て4個、プランター2個でした。売上金額は一万六千円、一万円をカンパしました。

春の拡大 新加入のみなさん

- 西尾久分会 川島佑太 建築大工
- 谷本義親 冷暖房
- 荻原竜二 給排水衛生ガス
- 上村貴大 電気
- 金杉友幸 電気
- 東尾久1分会 山田 徹 ビルメンテ
- 石川修平 ビルメンテ
- 小熊敦美 塗装
- 東尾久2分会 鳥山由紀宏 床・内装
- 上菌恭聡 床・内装
- 長濱元樹 床・内装
- 加藤幸子 建具
- 荒川分会 宮内基成 ビルメンテ
- 内田 茂 とび
- オルガロマンウ 解体
- 小野 一 解体
- 三田正史 解体
- 福島慶太 電気
- 花島優子 塗装
- 西坂拓人 造園
- 浅野由樹 防水
- 宮崎高弘 はつり・解体
- 石井佳代 はつり・解体
- 斉藤 剛 塗装
- 町屋北分会 加藤一男 防水
- 相楽義徳 塗装
- 堀込悠貴 建築大工
- 石川美音里 建築大工
- 大島照雄 建築大工
- 町屋南分会 井澤久子 左官
- 井澤麻衣 床・内装
- 岩瀬 孝 建具
- 播磨勝美 建具
- 中田美明 防水
- 小泉 明 建築大工
- 藤 直人 とび
- 日暮里1分会 樋場丈夫 左官
- 江草英明 床・内装
- 斎藤昌己 建物サービス
- 三条太樹 左官
- 大塚正幸 左官
- 角田すえ子 電気
- 笹生真吾 畳
- 鈴木悠里 電気
- 田代 武 看板取り付け
- 日暮里2分会 千葉武雄 とび
- 兼築健介 電気
- 山腰和臣 電気
- 阿頼耶一成 床・内装
- 山崎洋平 床・内装
- 濱 勇樹 冷暖房
- 渡辺順子 板金
- 細谷泰一 板金
- 高堀圭子 板金
- 南千住分会 大庭義和 とび
- 上間知司 とび
- 梅田 満 床・内装
- 八幡昌宏 床・内装
- 佐藤一義 はつり・解体
- 事業所分会 門脇静哉 れんが・タイル
- 草野寛幸 れんが・タイル
- 館岡 威 れんが・タイル
- 山本勇貴 れんが・タイル
- 山本麻衣子 建築大工
- 武田章宏 建築大工
- 直属分会 中野靖彦 給排水衛生ガス
- 大塚央子 設計・製図
- 後藤瑞貴 設計・製図
- 村上 強 看板取り付け
- 大岩聡之 設計・製図

(敬称略)

仕事に 誇りあり

福祉のリフォームを始めたのは、1996(平成8)年でした。とある荒川区議会議員から「区役所の助成金を利用して、自宅を改装してほしい」相談があり、初めて助成金の存在を知りました。以来、お客さんからお客さんを紹介してもらい、99(平成11)

05年 TOTOモデルパック 都で1位に 福祉のリフォーム 今は息子も家業に

荒川分会 緒方 富雄さん



年には荒川区の高齢者福祉リフォームの70%近くを施工しました。翌年から介護保険制度がスタートし、TOTO株式会社を中心に、より利用者みなさんに満足度を高めるリフォーム施工を肝に銘じて努力してきました。

2005(平成17)年には、TOTOリフォームパック部門、全国第3位、東京第1位を受賞しました。昨年から、長男の裕作が家業に加わり、福祉用具の販売、ベッドや車いすなどのレンタル事業をスタートして、より充実した福祉産業に参加しています。

これからも郷土第一に、お客さんの尊厳を大切にして努力していきます。

TOTOの表彰状をみせる緒方さん

文 緒方富雄通
信員＝荒川、建築大工 写真
並木義男記者＝荒川

松崎塗装所

ぬし 塗師として生きる 木と塗装にかけけるマイスター

木は日本人の生活と切っても切れないなじみ深い素材です。その木で作る家具は、毎日毎日の生活の中で、手で触れ、肌で感じるものです。日本人の五感と相性のいい木の家具。その家具の素材の特性を生かした美しい塗装を施す、松崎塗装所(東日暮里4丁目)の松崎和彦さん(67歳)から話を聞きました。文川 又好一記者||日暮里1 写真 根本武義記者||南千住



まつざき かずひこ 松崎和彦さん 「布団張り」という壁装技術に優れ、伝統技法をふまえた技術を継承している。東京木工塗装技能士会などの役員も務めており、後継者の育成にも力を注ぐ木工塗装士。右が和彦さん

ひとくち映画情報

「見えないほどの遠くの空を」

榎本憲男監督



©2010「見えないほどの遠くの空を」製作委員会

監督と脚本は、元劇場支配人という異色の経歴を持つ榎本憲男。1991年にATG脚本

本賞特別奨励賞を受賞して脚光を浴び、その後、インディペンデント映画の脚本を次々と手掛けてきた実力派です。この映画が満を持して、初の監督作品となります。 大学生生活最後となる映画研究会の作品でメガホンを取ることになった高橋賢(森岡龍)。完成目前に、ヒロイン役の杉崎莉沙(岡本奈月)が不慮の事故で突



に認定された、木工塗装工の松崎さんは、二代目として

ペンキ屋さんといわれる方が楽です

初代の父、信由さんは、1950年に和家具や江戸指物を主として、座卓や長火鉢を手掛け、漆器製作を専門として創業しました。松崎さんは塗師だった信

て松崎塗装所を受け継ぎました。 由さんに師事して、木工塗装の技術を身につけていきました。その後、東京は和室から洋室へと変化していく中で、畳の部屋には必要だった和家具や工芸品が洋家具へと需要が移って行

将棋盤の塗りや 歴史的建造物の調度修復も

松崎さんは木工塗装に関する国家検定、一級技能士の資格を持ち、将棋の大会で使用される将棋盤の塗りも行います。歴史的な建造物の調度修復も手掛け、多彩な技術と塗装に対する識見は高く評価されています。

「修復の仕事は大変難しく、良い物をたくさん見ないと分からないから、見る目を持たないと仕事はできませんよ。私たちの仕事は見た目では分からず、使って数年後に、持ちが違いう、いい仕事だったとなれば、次にまた仕事の依頼が来ます。塗装は見えないところに大変手間がかかります。いい物の仕事をやらせてもらうことがまた、大事なんです」。



松崎さんが手がけた調度品のひとつ

三代目を継ぐ松崎由和さんに今後の話を聞きました。 「ぼくは祖父に代わって、5年間他人の飯を食べてきました。せっかくなので、祖父の時代の仕事も来て、父の仕事も来て、今の時代の仕事もできる。そんな仕事を長く続けたいですね」。

荒川線 荒川遊園地前 都電散歩12



1922(大正11)年、王子煉瓦株式会社が出資して、隅田川沿いの煉瓦工場跡地に遊園地が開設されました。池があり、ボート遊びができました。

た。41(昭和16)年、軍隊に接収され、戦時中は軍の施設となり、高射砲が置かれました。戦争中は荒れる一方でした。 45(同20)年8月15日、戦争が終結。5年後、荒川遊園地として復活、子ども達の楽園として楽しまれるようになりました。 52(同27)年に釣堀が出来ました。57(同32)年には野外ステーション児童館が完成しました。4月初旬頃には桜が咲き、花見客でにぎわいます。 65(同40)年頃まで「キングレコード」があり、跡地には都営団地ができました。 5月の「こどもの日」には出店が立ち並び、たくさんの人出があります。入場料、乗り物なども安く、都内でただ一つの区立遊園地です。

訃報

- ◆東尾久1分会の外山和男さん(建築大工)が昨年12月17日に亡くなられました。享年78。
- ◆外山さんは、1966(昭和41)年に支部技術対策副部長に選出され、分会長としても活躍されました。同じ分会の吉田茂さん(建築大工、65歳)は、「俺のオヤジなんかといっしょにがんばってくれていたん
- ◆寺田健一さん(東尾久2、左官)3月28日死亡。享年58。
- ◆篠山良男さん(町屋南、防水)4月22日死亡。享年82。
- ◆八木橋芳雄さん(事業所、塗装)5月5日死亡。享年58。

ともに冥福をお祈り申し上げます。